

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成25年第6回

那須塩原市議会定例会

(12月)

【代 表 質 問 者】

【12月2日(月)】

TEAM 那須塩原代表

16番 君島 一郎 議員

公明クラブ代表

12番 鈴木 紀 議員

敬清会代表

21番 相馬 義一 議員

受付番号	平成25年11月11日
第 / 号	午前 3時30分受付 ④

平成25年11月11日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

会派名 TEAM 那須塩原

議席番号 16番 君島一郎



会派代表質問通告書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 平成26年度予算編成に関する基本方針について	<p>平成24年度当初予算は、市長が市民に示した各種政策を反映するには、時間的制約もあり十分精査出来ないため、法令等に基づく義務的経費や既存施設の維持管理費を中心とした骨格的予算とし、突発的な対応に備え予備費を増額しました。また、肉付け予算の財源に、財政調整基金の活用を考えているとありました。</p> <p>平成25年度当初予算は、市長就任後初めての通年予算であることから、公約の基本理念である「変革」を柱とし、本市のポテンシャルを引き出し、個性豊かなまちへの変革を実現するための予算編成をされました。</p> <p>さて、平成26年度当初予算の編成作業に、入っていることと思いますが、2回目の通年予算となることから、どのような基本方針により公約の実現と、市政運営に取り組んでいかれるのか、お伺いいたします。</p>
2. 除染対策について	<p>本市においては、平成24年度から0.23μSv以上の宅地について、除染を始めるとともに、市単独事業として18歳未満の子供がいる家庭には、表土の入れ替えによる除染も実施されてお</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>り、市民も大変喜んでおります。しかし、平成23年度には、学校等の公共施設の除染は実施されたものの、一般家庭の除染は対象外であったため、自費で除染をされた方も数多くおります。</p> <p>議会においても平成25年1月9日付で、放射能対策検討特別委員会より個人が単独で行った除染に対しても、補助対象とするよう要望をしました。しかし、市は、補助制度は考えていないが、放射能対策アドバイザーの活用等により、損害賠償手続きに関する勉強会や無料相談会を計画するとの回答でした。同じ那須塩原市民であり、同じ被災者であります。不公平が生じないように対応すべきと考えますが、市長のお考えをお伺いいたします。</p>
<p>3. 市民ファンドの実施状況について</p>	<p>本年度中に開始を目指すため、①再生可能エネルギーの創出と利活用の意義や趣旨を市民全体に浸透するための講演会等の企画及び実施、広報の企画②一般家庭に太陽光発電装置設置を行う事業体設立を目指す市民のための学習会の企画及び実施③市民ファンドの投資家となる市内外の市民に向けての事業趣旨の広報・周知活動④太陽光発電装置を設置しようとする市民に向けての事業趣旨の広報・周知活動。の4項目を実施し、事業体立ち上げに必要な基盤を整備するために、当初予算で10,000千円が計上されておりますが、その進捗状況はどのようになっていますか。また、太陽光発電に対する補助金が、当初予算で36,000千円・9月補正予算で21,600千円の増額となっておりますが、ファンド設立との関係についてお伺いいたします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>(2) 26年度予算編成にあたっての事務事業のキーワードに“人々から選ばれるまちづくり”の実現に向けて、を加えたといわれているが、キーワードに選んだ理由をお聞かせください。</p> <p>さらに、現段階で26年度のメインとする施策・事業等がありましたらお聞かせください。</p>
<p>2. 那須塩原市地球温暖化対策について</p>	<p>東京電力福島第1原子力発電所の事故を受けエネルギー政策の大きな転換が課題となり、それはまた電力分野だけの問題ではなく、社会全体で考えなければならないテーマとなっています。</p> <p>エネルギー政策においては原発依存の考え方、あるいは脱原発に向けた取組等大きなテーマであります。現在の電力事情は火力発電所を再稼働するなど化石燃料による発電量が増えており、結果電力会社のCO2排出量は約18%増加して過去最大といわれております。このことは地球温暖化防止への取組を進めるうえで懸念材料であり、一刻も早く再生可能エネルギーの導入を進めエネルギー政策の転換を図らなければなりません。那須塩原市地球温暖化対策実行計画によると、その推進のためには産業界のみならず、事業主である自治体、家庭など地域全体で積極的に取組む必要性があります。以上のことから伺います。</p> <p>(1) 本市の地球温暖化対策の今までの取組と課題について</p> <p>(2) 家庭への取組促進の状況と課題について</p> <p>(3) 事業者への取組促進の状況と課題について</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 新庁舎建設について	新庁舎建設事業は、新市の象徴としても、事業規模としても
	最大の事業であるとともに、まちづくりのうえでも多大な影響が
	ある事業でもあります。しかし、福島第1原発事故により基金を
	切り崩した経緯がありますが、合併特例債の活用期限がある一方
	今後の社会情勢に伴う本市の財政運営は予断を許さない状況で
	あります。事業実施には十分な精査とビジョンを描いたうえで、
	改めて、意思決定が求められると思います。市長就任3年目を迎
	えるにあたり、改めて市長の所見を伺います。

受付番号	平成25年11月18日
第3号	4 10時00分受付 午後

平成25年11月18日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 21番 敬清会 相馬義一



会派代表質問通告書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細に)
1. 平成26年度当初予算編成について	<p>11月14日に開催された議員全員協議会においてお示し頂いた平成26年度当初予算編成方針では、将来を支える年少人口及び生産年齢人口の減少等による歳入の減、高齢人口増加等に伴う歳出の増が予測されるため、分度推譲の考えをふまえつつ、今から人口の減らない住みよいまちづくりをめざして、積極的に少子化対策や定住促進施策等を推進する予算編成とし、事務事業推進のキーワードを「人々から選ばれるまちづくり」と謳っております。</p> <p>そこで実施計画(H26~27年度)を参照にしながら、以下の点についてお伺いします。</p> <p>(1)少子化対策・障害者福祉事業において、積極的な事業としてどのような事業があるのかお伺いします。</p> <p>(2)定住促進について</p> <p>①新幹線通勤者への定期代助成、三世帯同居と隣居のための住宅取得助成の内容についてお伺いします。</p> <p>②この度、馬場整備事業について示されました。紙面では、定住促進効果もあるとありましたが、市民に理解を得られるものなのか?また、現時点で優先すべきは、ねりんピックのための整備と考えるが、市の考えを伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3)既存産業の活性化に関し、那須塩原駅周辺・黒磯板室インター
	周辺における産業の活性化の考えについてお伺いします。
	(4)「人々から選ばれるまちづくり」の事業推進の課題は何か伺い
	ます。
2. 放射能対策事業について	放射能対策において、市民の健康に対する不安や風評被害払拭の
	ために、本市では、除染をはじめ空間放射線測定やマップ作成、食
	品等の放射性物質検査・ホールボディカウンターによる放射線内部
	被曝量測定への検査費用助成等の事業を実施しています。
	特に18歳以下の子供を持つ家庭の一般住宅除染を市単独事業とし
	て実施したことは評価するところであります。今後、さらに除染
	計画に基づいて、一般住宅・公共施設等事業をすすめていかれると
	おもいますが、以下の点についてお伺いいたします。
	(1)平成25年度事業途中でありますが、これまでの事業の検証、
	及び今後の事業内容についてお伺いします。
	(2)事業推進及び検証等において、3名の除染アドバイザーからは
	これまでにどのような意見があったのか。また、市はそれらを
	どのように活かして来たのか、さらには将来に向けてどのよう
	に活かして行かれるのかお伺いします。
	(3)小中学校の校庭以外の場所(放射線量の高い、特に芝を張って
	ある場所等)の除染についてお伺いします。
	(4)子どもの甲状腺がん検査について、本市の子どもは平田村にお
	いて無料で検査を受けられるにもかかわらず、検査を受ける子
	どもが少ない状況であります。学校等を通じて、周知方法等を
	検討し、不安をなくす努力をしてはと思いますが、市の考えを
	お伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 農業行政について	本市の基幹産業でもあります農業が重大局面を迎えようとして
	います。平成26年度に向けた国の農業施策が先行き不透明であり、
	減反を含めた制度改正が進められているためです。さらにTPP
	問題等、農業を取り巻く環境が厳しく、農業を守る施策が必要かと
	思われますが、以下の点について伺いいたします。
	(1)変化する国の農政に対する本市の対応について伺います。
	(2)平成26年度の米作について、どのように捉えているのか伺
	います。又、TPP問題においては、聖域を守り抜くという
	強い姿勢が求められていますが、市の対応を伺います。
	(3)国は農地の集積を進めていますが、有効利用対策について伺
	います。

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 5 年 第 6 回

那 須 塩 原 市 議 会 定 例 会

(1 2 月)

【 一 般 質 問 者 】

【 1 2 月 4 日 (水) 】

5 番	佐藤 一則	議員	2 0 番	山本はるひ	議員
1 番	藤村由美子	議員	2 番	星 宏子	議員

【 1 2 月 5 日 (木) 】

7 番	櫻田 貴久	議員	1 8 番	金子 哲也	議員
3 番	相馬 剛	議員	1 9 番	若松 東征	議員

【 1 2 月 6 日 (金) 】

1 5 番	齋藤 寿一	議員	2 2 番	玉野 宏	議員
1 1 番	高久 好一	議員	6 番	鈴木 伸彦	議員

【 1 2 月 9 日 (月) 】

2 3 番	平山 啓子	議員
-------	-------	----

受付番号	平成 25 年 11 月 11 日
第 / 号	⑦ 午後 8 時 35 分受付

平成 25 年 11 月 11 日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 5 番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 6 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。
記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. パソコンの安全管理について	IT機器の発達が目覚ましいものがあり、コンピュータは表計算文章作成、情報収集等今や生活には欠かせない物であります。使い方により便利な半面大きな危険性もあります。国家が関与したサイバー攻撃、要人の盗聴等世界を震撼させ、サイバー問題に関するルール作りが急がれる処であります。膨大な情報が氾濫している昨今、本市のその管理体制についてお伺いします。 (1)職員に配備されているコンピュータはどのような形でネットワーク化されているのかお伺いします。 (2)ウィルス感染防止対策はどのようにされているのかお伺いします。 (3)情報流出対策はどのようにされているのかお伺いします。 (4)コンピュータやメモリー機器の持ち出し等の管理規定はあるのかお伺いします。
2. 黒磯消防本部庁舎の建て替えについて	市民生活において安全・安心は大きな柱の一つです。その安全・安心に欠かすことのできない組織に消防署があります。現在、北那須地区 2 市 1 町には、黒磯那須消防組合と大田原広域消防組合があり黒磯那須消防組合が本市黒磯地区と那須町、大田原広域消防組合が大田原市と本市西那須野地区及び塩原地区を担当しています。大田原広域消防組合が本市西那須野地区と塩原地区を越境

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>して担当しているのは、平成の市町村合併後も以前の担当地区を変更しなかったためであります。しかし、それも平成27年度を目途に二つの消防組合が一つに統合され2市1町を一括担当する事になり、その機能が一層発揮されることが期待されます。</p>
	<p>黒磯那須消防組合の活躍は目覚ましいものがあります。直近では去る8月23日広島市で開催されました第42回全国消防救助技術大会において、ほふく救出の部、ロープブリッジ救出の部、応用登はんの部の各部で入賞し、応用登はんの部のタイムは全国一と輝かしい成績を収めております。以上のようにソフト面では非常に充実しております。しかし、庁舎においては、その機能が損なわれております。特に黒磯那須消防組合の中核である消防本部庁舎が昭和46年6月完成と老朽化が著しく、建築確認申請同意部署にも拘らず耐震構造不適と消防署の庁舎として相応しくないと考えられますので以下の点についてお伺いします。</p>
	<p>(1) 黒磯那須消防本部庁舎の現状をどのように捉えているかお伺いします。</p>
	<p>(2) 黒磯那須消防本部の新庁舎建設計画の進捗状況をお伺いします。</p>
	<p>(3) 二つの消防組合の合併後の黒磯那須消防本部の位置づけをお伺いします。</p>
<p>3. 小学校の統廃合について</p>	<p>本市の子どもたちが将来、自分の夢や希望を持ち、社会の一員としての責任を果たしながら自己実現を図っていけるように、小・中連携を通して、義務教育の9年間で人格の基盤づくりをするために、学校教育の方針として「人づくり教育」を推進する一つの方針として「那須塩原市小中学校適正配置基本計画」が策定されています。その基本方針の一つで学校の適正配置が、地理的条件</p>


質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	<p>や現在の配置を十分考慮し、統廃合や学区の再編により行われます。鍋掛地区では、鍋掛小学校と寺子小学校が統廃合になります。寺子小学校は長い歴史と伝統があり、その学校が廃校になるという事は、寺子地区にとって大きな問題であると思います。その会議が重ねられている中、再確認の意味も込めまして、次の点についてお伺いします。</p>
	<p>(1) 鍋掛小学校と寺子小学校の統廃合に伴う進捗状況及び今後のタイムスケジュールについてお伺いします。</p>
	<p>(2) 寺子地区の児童の登下校の手段についてどのような方法をとるのかお伺いします。</p>
	<p>(3) 鍋掛小学校と寺子小学校の統廃合について、地域の人達とどのような話し合いをしているのか具体的な内容と課題等についてお伺いします。</p>
	<p>(4) 寺子小学校及び各廃校の跡地の活用は地元地区には大きな問題だと思いますのでどのように活用するのかお伺いします。</p>

受付番号	平成25年11月11日
第2号	⑩ 午後 8時50分受付

平成25年11月11日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 20番

山本はるひ 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 国民健康保険の運営について	国民健康保険の平成24年度決算では、繰越金額は7億7千万円となっています。さらに、財政調整基金が21億円を超えています。市は、平成23年度に保険税の見直しをして、税の引き下げを行ったにもかかわらず基金は増え続けて、実質単年度収支は23年度、24年度ともに2億円以上の黒字になっています。
	一方で、国民健康保険税の収納率は県内でも悪く、現年度分で89.9%、過年度分では17.77%という状況です。
	そこで、今後予定されている広域化を見据えて、運営をどう考えるのか、広域化に対する本市の考え方や計画の進捗状況などについても併せてお伺いいたします。
	(1) 平成24年度の決算状況から、平成23年度に行った税の見直しについての結果をどのように捉えているのか伺います。また、財政調整基金などを含めた、望ましい運営やあり方をどう捉えているのか伺います。
	(2) 税の引き下げをしたにもかかわらず、この2年間の決算で2億円以上の黒字となっていること、財政調整基金が毎年増え続けているという状況から、今後さらに引き下げ等の

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	見直しを行う計画があるのか伺います。
	(3) 平成25年度決算と財政調整基金の見込み、及び平成26
	年度以降の歳入・歳出の見込みについて伺います。
	(4) 収納率について、税の見直し(税の引き下げ)と収納率
	の関係はどのようになっているか伺います。
	(5) 国民健康保険の広域化については、どこで、誰が、どのよ
	うな計画づくりをしているのか、また本市の考え方、関与の
	仕方、広域化の時期について伺います。
2. 前納報奨金制度について	市県民税および固定資産税・都市計画税の前納報奨金は、交付
	限度額、交付率ともに見直しを行い、平成23年度から引き下げ
	られています。この制度については、創設時とは社会情勢が大きく
	変わり、納税意欲の高揚を図ることへの意識は浸透してきてい
	ます。納税に関しては、悪質な滞納者への対策や収納率の向上が
	問題になっていると思います。そこであらためてこの制度につい
	て、本市の考えをお伺いいたします。
	(1) 見直しを行い、限度額・交付率の引き下げを行った結果
	をどのように捉えているか、収納状況はどうだったかについて
	伺います。
	(2) この制度について、本市としての考え方を伺います。
3. 海外都市産業交流促進事業に	昨年引き続き今年度も行われたフランスへの海外都市産業
ついて	交流促進事業については、国際化に対応する優れた指導力を兼ね
	備えたリーダーとして活躍できる人づくりと、本市の産業観光の
	活性化を目的としている事業とのことです。そこで2回の事業を
	踏まえたうえで、その成果と今後についてお伺いいたします。

受付番号	平成 25 年 11 月 11 日
第 3 号	午前 9 時 30 分受付 午後

平成 25 年 11 月 11 日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 1 番

藤村 由美子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 6 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市民協働のまちづくりに ついて	<p>当市のまちづくりの基本理念のひとつとして、「市民との協働によるまちづくり」があげられています。今後、地方分権化が進む流れの中で、住民に選ばれるまちとして生き残るためには、豊かな自然環境の恩恵に頼るばかりでなく、限られた財源を有効活用し、住民サービスの質を確保できる自治体であることが求められてきます。そのためには、地域住民の声を聞き、力を借りて、市民協働のまちづくりが円滑に進んでいくことが必要不可欠であると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1)那須塩原市が目指している市民との協働によるまちづくりとは、具体的にどのようなものですか、お聞かせください。</p> <p>(2)市民協働のまちづくりに関する施策はどの部署でどのように決められるのか、お聞かせください。</p> <p>(3)まちづくりの施策の中に、市民が思い描く未来像は反映されているのでしょうか、お聞かせください。</p> <p>(4)市内で活動するNPO法人について、市は活動状況を把握していますか、お聞かせください。</p>
2. ゆ〜バスと予約ワゴンバス について	<p>10月からスタートした新路線について、現時点での利用状況等について伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1)それぞれの路線ごとの利用状況をお聞かせください。
	(2)特に乗降の多い路線、バス停はどこですか。
	(3)新路線について、どのような意見が届いていますか。
	(4)利用者の少ない路線や停留所は、今後の見直しで廃止されるのでしょうか。
	(5)今後利用率を上げるためのPR策はあるのでしょうか。
	(6)ニーズ調査の具体的な方法は決まりましたか、お伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2 那須塩原市発達障害児支援 について	<p>発達障害に対する社会的な認知が不十分であるため、虐待を受けるリスクが高まったり、学校でいじめにあうケースも少なくありません。副次的被害として「ひきこもり」の状態や「うつ状態」など、他の精神症状がでることもあります。そのような発達障害の子どもたちや保護者に対し、就学や将来の就労に備えた手厚い支援が必要と考えることから、お伺いします。</p> <p>(1)発達障害児及び家庭に対し、本市では現在どのような支援体制で行っているのか、お伺いします。</p>
3. 共働きの家庭への子育て支援 について	<p>全国的な傾向として年々共働きの核家族が増加しておりますが、働く親にとって子供を安心して預けられる施設は、とても大切です。乳幼児を持つ家庭が、子どもを保育園に預けたいと希望していても条件が合わず断念したり、就活中だけでもファミリーサポートセンターに依頼するにも、利用するには料金がかかります。ようやく、仕事をみつけて保育園に入園できても、放課後児童クラブに入れない、小学1年生の壁があるなど、様々な問題があります。働きながら安心して子育てできる環境を整備することは、本市にとっても最重要課題であると考えます。</p> <p>以上の観点から、お尋ねをします。</p> <p>(1)就職を決める間だけでもファミリーサポートセンターにお願いすると、数日間の依頼でも料金がかさみ、家計の影響は大きくなってしまいます。今後料金体制の見直しの考えはあるのか、お伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2)放課後児童クラブについての現状と課題についてお伺いしま
	す。
	(3)2012年8月に成立した「子ども・子育て支援法」に基づき、
	今年4月に「子ども子育て会議」の設置が義務付けされ、本市に
	おいても設置され会議が開催されていると思いますが、どんな組
	織で、どのような内容を検討しているのかお聞かせください。

受付番号	平成25年11月14日
第5号	午前 11時00分受付 午後

平成25年11月14日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 7番 櫻田 貴久



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 黒磯駅周辺の再整備について	来年度から5年間かけて、空洞化が進むJR黒磯駅周辺を、国土交通省の補助事業を活用して再整備をするとの新聞発表があり、また、会派代表者懇談会でもそのような説明がありました。
	そこで、以下の点についてお伺いします。
	(1) 黒磯駅周辺地域を再生並びに再整備するためのコンセプトをお伺いします。
	(2) 黒磯駅周辺の再整備の内容をお伺いします。
	(3) 黒磯駅周辺地域の再生を図るための一番のプライオリティ(優先順位)についてお伺いします。
	(4) 黒磯駅周辺の地域を再生するための必要な条件について、市はどのように考えているのかお伺いします。
	(5) 今後黒磯駅周辺地域の再生には、地域住民が地域再生の主役にならなければ到底目的は達成できないと思うことから、地域住民との連携についてお伺いします。
2. 那須塩原市の観光振興戦略について、	10年後には日本最高峰の温泉・観光都市となることを目指して木下昭彦政策審議監が4月に就任し、早9ヶ月が過ぎようとしています。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	そこで、本市の観光振興戦略について、以下の点についてお伺い
	します。
	(1) 本市の観光における質の向上に関する取り組みの進捗状況に
	ついてお伺いします。
	(2) 本市が行う効果的なプロモーション戦略と、今後の計画につ
	いてお伺いします。
	(3) 本市が行っている観光振興戦略について、地元観光業従事者
	とどのような連携をとっているのかお伺いします。
	(4) 本市が行っている観光振興戦略について、今までに行政ほど
	のように改革されたのか。また、行政側の意識改革がどのよう
	に進んだのかお伺いします。
	(5) 本市の観光地が再生につながる「仕組み」についてお伺いし
	ます。
3. 那須塩原市の不登校対策に	不登校児童生徒数は年々増加し、平成13年度の国公私立の小中
ついて	学校の不登校児童生徒数が13万9千人と過去最高を更新するな
	ど、憂慮すべき状況にあることから、本市の不登校の解決に向けた
	対応について、以下の点をお伺いします。
	(1) 本市の不登校対策についての基本方針をお伺いします。
	(2) 本市の不登校の現状についてお伺いします。
	(3) 本市の不登校問題の対策についてお伺いします。
	(4) 本市の不登校児童生徒への対応についてお伺いします。
	(5) 本市の適応指導教室の整備内容についてお伺いします。
	(6) 本市の不登校生徒の自立に向けた今後の取り組みについてお
	伺いします。

受付番号	平成25年11月14日
第6号	午前 2時00分受付

平成25年11月14日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号18番 金子哲也



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 教育文化行政について	未来に向けて、那須地区の文化芸術の振興に一層力を注いで頂きたいと思うことから、以下の点について伺う。
	(1)組織の改革について
	現在、生涯学習課は生涯学習係、文化振興係、青少年係、青少年センター、那須野が原博物館、そして17カ所の公民館等と、幅広い範囲の業務を統括している。これらの業務を有効かつ効率的に執行するためには、課を3つ程に分割し事務を執行していく方が望ましいのではないかと感じるため、「文化振興課」として独立させ、動きやすい体制を作ってはどうか、市の考えを伺う。
	(2)西那須野産業文化祭芸術祭の取り組みについて
	三島ホール及びその他の施設で行われる産業文化祭の一環として開催する芸術祭の催し物については、宣伝が行き渡らず、あまり市民には知られていない現状であり、催しによっては観客もほとんどいないものもある。開催準備や運営にあたっては、特定の課のみではなく全庁的に対応し、市民が文化と芸術の水準を高め合うことはもちろんのこと、「那須塩原市民」としての一体感を醸成できるような「市をあげての」芸術祭にすべきであると考えことから、

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	この事業をより効果的なものにし、魅力を高めるための取り組みについての、市の考えを伺う。
	(3)パイプオルガンの完成
	約20年、待ちに待ったパイプオルガンが完成となった。しかし、
	これをどう生かしていくか、宝の持ち腐れになってはならない。
	今後のパイプオルガンを活用するための方針と、スケジュールにつ
	いて伺う。また、パイプオルガンを有効に活用するためには、ハー
	モニーホールに音楽専門の職員を配置すべきと考えるが、市の考え
	を伺う。
2. 福祉行政について	弱い立場の市民に対してどう支援していくか、一層の充実を望む
	ことから、以下の点について伺う。
	(1)児童養護施設等から、15歳以上または18歳以上で退所して
	いく者は、保証人の問題をはじめとして、多くの社会的・経済的困
	難に直面している現状がある。施設を退所した若者が、スムーズに
	自立した生活や各種学校への進学に移行できるような支援はでき
	ないか伺う。
	(2)配偶者と離別・死別した親に対する支援制度(寡婦控除等)と
	比べ、結婚せずして子をもうけた未婚の親に対する支援は見劣りす
	ると考える。市として、このような未婚の親に対しどのような支援
	ができるのか伺う。
	(3)児童虐待や夫婦間暴力が年々増加している。弱い立場の被害者
	をどう守り、支援していくのか伺う。
3. 国際交流について	従来から本市とリンツ市は中学生海外派遣事業をとおして交流を
	深めてきたところであり、先般、渡邊副市長がオーストリアのリン

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	ツ市を表敬訪問された。また、フランスより国際交流員を受け入れて
	おり、本市が今後一層国際交流の取り組みを強化していくことを期待
	し、以下の点について伺う。
	(1)フランスから国際交流員を受け入れているところではあるが、現
	在の活動状況について伺う。
	(2)さらなる国際交流推進のため現在交流のあるリンツ市から、国際
	交流員を受け入れてはどうか伺う。
	(3)リンツ市との今後の友好関係をどう進めていくのか伺う。

受付番号	平成25年 11月14日
第7号	午前 午後 3時00分受付

平成25年11月14日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 3番 相馬 剛



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。
記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. スポーツ施設整備計画 青木サッカー場について	平成24年2月に出されている那須塩原市スポーツ施設整備計画で、その目的を現施設の特徴を生かし、機能充実を図り、全国大会が開催できる整備を行う、としており、スポーツの普及と振興を図るとともに、市民の一体感を醸成する施設の整備を目指す、としております。そこでこの「全国大会が開催できる施設」、「市民の一体感を醸成する施設」を念頭に置いて質問いたします。 青木サッカー場は、サッカー競技の拠点施設としての整備を8項目で掲げております。そこで次の点を伺います。 (1)施設設計の際、参考またはモデルとした施設はありますか。 ありましたらそれは、どこの施設ですか。 (2)全国大会とはどの程度の大会を想定していますか。 (3)この施設の収容人数は何人か。 (4)駐車場は、750台収容となっていますが十分ですか。 (5)トイレは2棟の予定ですが同時に何人使用できますか。 (6)観客、応援者用のスタンドは、どの様に考えていますか。 (7)フットサル競技用施設はどうお考えですか。 (8)クラブハウスの設置計画はありますか。 (9)施設内の体育館の使用目的はどうお考えですか

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(10) 青木サッカー場の最終的なグラウンド全体のデザインはありますか。
2. スポーツ施設整備計画	くろいそ運動場のテニスコートは、これまでも大規模な大会を
テニスコートについて	開催した実績があり、また、来年ねんりんピック栃木2014のソフト
	テニス会場となっております。そこで次の点を伺います。
	(1) 現存のコート12面を人工芝に、現サッカー場に8面、計20
	面の整備計画がありますが、この整備日程を伺います。
	(2) ねんりんピックでソフトテニスの参加予定が640人としてい
	ますが、選手控室、トイレ、観客席など十分な施設になりますか。
	(3) テニスコートの全体完成予想図はありますか。
3. スポーツ施設整備計画	ソフトボール競技は、小中学生を中心に全国的な活躍をしてお
ソフトボール場について	り、本市を代表する種目となっております。そしてその拠点を、
	にしなすの運動公園、三島体育センターとしており、昨年には、
	全国中学校体育大会のソフトボール会場となりました。そこで、
	次の点を伺います。
	(1) 昨年の全中大会後、施設の改善点はありますか。
	(2) グラウンド内の整備と、観客席の整備はどうお考えですか。
	(3) ソフトボール場の完成予想図はありますか。
4. スポーツ施設整備計画	私は、平成19年に当時那須塩原市野球連盟の会長とともに黒磯
野球場について	本球場整備について、日本アマチュア野球連盟、日本高校野球
	連盟の要望書を添えて陳情をいたしました。その結果趣旨採択と
	の結果を聞き大喜びした記憶がございます。整備については、平
	成27・28年度で行う予定となっております。そこで次の点を伺い

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	ます。
	(1)本球場の施設は、硬式野球に対応し、全国大会規模の大会が開催できる野球場になると考えてよいですか。
	(2)具体的整備案または設計はいつ頃の予定ですか。
	(3)設計にあたり、モデルとなるまたは参考にする野球場は、どこの施設を予定していますか。
5. スポーツ施設整備計画	陸上競技場はにしなすの運動公園、くろいそ運動場補助球場の
陸上競技場について	2施設を多目的運動施設としての整備とされています。そこで、次の点を伺います。
	(1)多目的とはどのような目的をいいますか。
	(2)全国大会規模の大会を開催するに当たり、開会式等が行える会場施設となるのですか。
	(3)本市は長距離競技が全国的な活躍が多くありますが、この長距離競技を考慮に入れた計画となっていますか。
6. スポーツ施設全体について	全国的にスポーツ施設は、災害や有事の際は、避難場所や対策
	部門の設置場所となるケースがありますが、本市の整備計画に、このようなことが謳われておりませんが、どの様に考えますか。

受付番号	平成25年11月18日
第8号	午前 8時30分受付 午後

平成25年11月18日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号19番 若松東征



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市の情報発信について	市から発信されているさまざまな情報は、広報やインターネットを通じて参照できることで、市民にとっても便利に活用されていると思います。一方で、市民は常に新たな情報サービスを期待しているものと思います。そこで以下の点について伺います。 (1) 現在本市のさまざまな情報は、どのような手段で発信しているのか伺います。 (2) インターネットを活用した新たな情報発信の手段の一つとして、最近注目されているオープンデータについて伺います。 ①オープンデータの概要について伺います。 ②全国各地の自治体がオープンデータによる情報発信に取組みはじめました。本市の考えを伺います。
2. 巨岩吊橋について	板室地区の観光振興を図る目的で木の俣川に吊橋が建設され、左岸及び右岸に遊歩道が整備されました。そこで伺います。 (1) 本年7月にオープンした、吊橋や遊歩道の場所を知らない市民が多いと感じます。市民へのPRはどのようにしていますか。 (2) 今後さらに整備を進める考えはありますか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 本庁舎窓口案内について	<p>本庁舎の窓口案内業務は、市民サービスの向上と職員が市民と同じ目線にたつ機会を持つことにより、職員の質の向上に努めるとともに、ひいては市民の信頼を得ることが目的とありますが、多くの市民から庁舎案内について毎日案内係の顔が変わるのでとまどいがあると聞いています。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 窓口案内が始まった経緯と現在の体制を伺います。</p> <p>(2) 窓口案内を実施した効果と課題があれば伺います。</p> <p>(3) 今後も継続する考えなのか伺います。</p>
4. 本庁舎のロビーについて	<p>昭和58年に建てられた本庁舎のロビーは、2階への階段が中央に位置しているために狭さを感じています。</p> <p>そこで以下について伺います。</p> <p>(1) ロビーの構造上の問題はあると思うが、全体的に広く利用することはできないか伺います。</p> <p>(2) 庁舎に入ってまず感じるのはロビーが暗い。照明を明るくできないか伺います。</p>

受付番号	平成 25 年 11 月 18 日
第 9 号	午前 午後 8 時 40 分受付

平成 25 年 11 月 18 日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 15 番 齋藤 寿一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 6 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 塩原視力障害センター跡地 利用について	<p>昭和 23 年に国立光明寮として開校された塩原視力障害センターは、平成 25 年 3 月 31 日をもって国立障害者リハビリセンターに統廃合され、長年にわたり視力障害者の支援施設として、利用者はもとより、地元においても親しまれてきた施設は、惜しまれながらも閉鎖となりました。しかしながら、当該施設は、施設自体の歴史的価値も高いことから、次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 跡地に関し、現在までの国との協議の経過についてお伺いします。</p> <p>(2) 市有地となった場合、温泉を活かした「ヘルスツーリズム」の拠点として活用することなどを視野に、今後の利用法の検討をどのようにお考えかお伺いします。</p> <p>(3) 敷地内にある現施設の活用をどのように考えているかお伺いします。</p>
2. 馬場整備について	<p>宮城県の仙台育英学園の研修施設であった約 17 ヘクタールの土地と建物は、2007 年 10 月に市に無償譲渡されました。今回その施設の中にある既存の馬場等の整備をする考えが示されましたが、次の点についてお伺いします。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 馬場等を整備するとのことであるが、その面積と施設についてお伺いします。
	(2) 整備にかかる概算事業費についてお伺いします。
	(3) この施設をどのように活用していくのかお伺いします。
	(4) 管理・運営等をどのように実施していくのかお伺いします。
	(5) この施設の効果と将来性について、お伺いします。

受付番号	平成 25 年 11 月 18 日
第 10 号	午前 10 時 00 分受付 午後

平成 25 年 11 月 18 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 22 番 玉 野 宏



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 6 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成 26 年度当初予算編成を踏まえた市政運営について	<p>3. 11 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故から 2 年半が経過し、当市を含む県北地域でも一定の落ち着きが感じられるようになりました。しかしながら、未だ解決していない放射性物質の除染や処分場問題などに加え、現在の日本が抱える人口減少、少子高齢化という大きな問題にも直面しております。</p> <p>そのような中、私は、昨年 9 月の定例会において、市が求める本当の意味でのプラス成長への足掛かりとして、行政のリードがかかせないと提言させて頂きました。阿久津市長が就任されてからの市政運営を考え、今後の市政に繋がる一助となれるよう以下の点について伺います。</p> <p>(1) 過日開かれた 11 月の議員全員協議会では、八溝山周辺地域定住自立圏の形成に関する協定の締結について、圏域住民が真に必要なとしている生活機能を確保し、安心して暮らし続けられる地域を形成するという取組内容が示されました。また、今後本市が中心となる定住自立圏構想についても具体的になっていくことから、定住自立圏形成のメリットとは何か、再確認の意味を込めて伺います。また、定住自立圏の形成により、労働者人口の流出・少子高齢化に歯止めを掛けられるような、地域力</p>

受付番号	平成 25 年 11 月 18 日
第 // 号	午前 // 時 00 分受付 午後

平成 25 年 11 月 18 日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 11 番 高 久 好 一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 6 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 生活保護行政について	生活保護行政について、以下のとおり伺います。
	(1) 市民には回復が実感できない経済状況のなか、生活保護を受給する世帯が「過去最多」と報じられている。
	当市の現状と課題について考えを求める。
	① 増える申請と求められる迅速な審査、受給後のフォロー態勢はどのように行われているか。
	② 市民に対応する職員の不足はないか、職員の資質向上のための対策は図られているか。
	③ 不正受給が報道されているが、当市の実態と事例の傾向はどのように分析されているか。
	(2) 全国で生活保護の申請時に使われている調査書に「誤認を招く表現」があり、厚労省は「是正を求める事務連絡」を行った。行政に必要な文書について、市の対策と考えを求める。
	① 調査書の文言等の確認とその印刷方法は、どのように行われているか。
	② 国からの是正の「連絡」の有無、文書確認後の対応は、どのように行われているか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	③「誤認を招く」文書によって受給を断念した市民の有無を
	調査し、対応する考えはあるか。
2. シイタケ農家への支援に	福島原発事故の被害を受けたシイタケ農家が県内でも出荷制
ついて	限から解除に向いつつあるなか、支援について考えを求める。
	(1)出荷再開に向けた、菌種や原木の確保などの支援は十分に
	行われているか。
	(2)廃業する農家が報道されているが、その把握と対策はどの
	ように行われているか。
3. 国保行政について	市民が高くて払いきれない、国民健康保険料。消費税増税など、
	家計に厳しさが増すなか、多くの自治体が住民の負担軽減に対策
	を強めている。当市の対応と考えを求める。
	(1)厳しい国保財政を支える国庫負担を、増額し元に戻すよう
	求める国への要請は、どのように行われているか。
	(2)県で2番目に多い保険証の取り上げは、もうやめるべきと
	思うが、市の考えを求める。
	(3)市民の保険料は県内中位だが、市民1人当たりの医療費は
	県内で2番目に少ない。市はどのように分析しているか。
	(4)市民の意識の向上と職員の努力によって収納率が改善し、
	県内有数の財政調整基金を持つようになった。
	豊かな基金を使って、県内初めてとなる2度目の保険料の引
	き下げを行い、市民に還元すべきと思うが、市の考えを求め
	る。

受付番号	平成25年11月18日
第12号	午前 午後 11時30分受付

平成25年11月18日

那須塩原市議会議長 中村芳隆 様

議席番号6番 鈴木伸彦



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第6回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市のマーケティングとブランディング戦略について	<p>少子高齢化及び人口減少はどの自治体も直面している重要な課題である。その対策の一つとして、市民の満足度を高めるとともに、他地域からも移り住みたいと思えるような取り組みをし、それらを市の内外に発信することが必要であると考え。人々から選ばれるまちづくりの実現のため、本市の価値を高め、創造する観点からお伺いいたします。</p> <p>(1) 企業に用いられているマーケティングの手法を本市に当てはめた場合、市民や他地域の住民を顧客と捉えた上でどの様に分析し、生かしていくことができるのか。</p> <p>(2) 市のブランディングをどのように考えているか。</p>
2. 教育行政について	<p>先ほど結果が公表された、全国的に子ども達の学力状況を把握する「全国学力・学習状況調査」についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 調査結果について、本市の状況を伺う。</p> <p>(2) 今後の方向性について、結果を受けての対策や目標値等の設定など、具体的な施策はあるか。</p> <p>(3) 学校単位での成績を公表することについて、市の考えは。</p> <p>(4) 市内の児童・生徒の学力向上のため、大学進学を前提とした</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	中高一貫教育などを含めた取り組みに対する市の考えは。
3. 都市計画法による開発許可	今まで県が行っていた都市計画法の規定による開発許可及び関
及び関連する事務について	連事務が、平成26年4月1日から本市に委譲されることになる
	と聞いているが、それらの対応についてお伺いいたします。
	(1) 市の準備として、どのようなことが行われているか。
	(2) 委譲を受け、市行政側から、また市民側からのメリット・デ
	メリットはどのようなものがあると考えられるか。
	(3) 雨水処理や公園など、技術基準は県との許可に対して独自性
	を持つことはできるのか。
4. 本庁舎移転とその他駅周辺	合併して8年と11カ月が過ぎ、経済の低迷と少子高齢化の中
の土地利用について	で、合併時の約束であった本庁舎をJR那須塩原駅周辺に移転す
	る計画について、今後の予定をどのように考えているのかお伺い
	します。
	(1) 庁舎移転時期、条件など、どのように考えているのか。
	(2) JR那須塩原駅周辺は、新幹線の停車駅にもかかわらず、土
	地利用が遅れていると思うが、市の考えは。
	(3) コンパクトシティという言葉があるが、その言葉の意味を踏
	まえた市内JR3駅周辺に対する施策はあるのか伺う。

受付番号	平成 25 年 11 月 18 日
第 13 号	午前 午後 11 時 45 分受付

平成 25 年 11 月 18 日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 23番 平山啓子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 6 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 防災対策について	最近、異常気象による洪水、土砂災害が増えており、各自治体には、避難対策の強化が求められています。本市におきましても先月、市民参加型の防災訓練が実施されました。
	台風 30 号によるフィリピンの被害は、子どもや女性、老人の犠牲者が多く、東日本大震災とも重なり心が痛みます。日本も、この地域も決して安心はできません。そこでお伺い致します。
	(1) 災害時に自力で避難することが難しい災害時要援護者の名簿作成の進捗状況とその活用についてお伺い致します。
	(2) 要援護者、障害者を含め、日ごろの避難訓練の避難所運営のシュミレーションはありますか。また、誰でも避難所を立ち上げられるような簡易な避難所運営の手引きを作成してはどうかお伺い致します。
	(3) 市内小中学校、公共施設などの指定避難所すべての防災倉庫の設置状況と今後の設置計画についてお伺い致します。
	(4) 現在設置されている防災倉庫の備蓄品の明細とその備蓄品で充分かどうかお伺い致します。
	(5) 市内公共施設に設置している自動販売機を、災害時の飲料に利活用できる仕組みを導入する考えがあるかお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(6) 3. 11以降、指定避難所として適さない施設も見うけられますが、今後、指定避難所全体の見直しの考えをお伺い致します。また、「道の駅」に防災拠点の機能を持たせる考えがあるのかお伺い致します。
	(7) 女性の視点を反映させるため、庁内外から選出した女性のみで構成される「防災女性部会 (仮称)」を設置してはどうかお伺い致します。 また、女性だけの防災訓練を実施してはどうかお伺い致します。
2. 子どもの命を守るため、児童虐待を防止しよう	11月は厚生労働省が定める「児童虐待防止推進月間」でした。そこで、お伺い致します。 (1) 本市の児童虐待の現状と、種類別の児童虐待相談件数をお伺い致します。 (2) 相談があったケースの対応状況と、今後の課題をお伺い致します。
3. “市民の足”「ゆ〜バス」「予約ワゴンバス」について	10月1日から新たな路線も加わり、市民の足として「ゆ〜バス」、「予約ワゴンバス」がスタートして2ヶ月が過ぎました。そこでお伺い致します。 (1) 利用者の思いも複雑なものがあると思いますが、市にはどのような声が届いているかお伺い致します。また、その利用者の意見を今後どのように反映させるのかお伺い致します。 (2) 市民の声を聞くための一つの手段として、各バスや公民館等に「市民要望箱」を設置してはどうかお伺い致します。